

## 佐野短期大学シラバス2014

科目名 Course Name	開講年次	開講学期	曜日・時限
Photoshop演習 Exercise in Photoshop	1年	前期1/2	別途、時間割参照
単位数	授業の形態	授業の性格	履修上の制限
1単位	演習	選択	特になし
当該科目の理解を促すために受講しておくことが望まれる科目			
特になし			
同時に履修しておくことが望まれる科目			
Illustrator演習			
担当者に関する情報			
氏名	研究室の場所	オフィスアワー	電話番号・メールアドレス
亀田和則	講義棟3F	月曜日	授業中に指示します
授業の概要			
Adobe Photoshop (アドビフォトショップ) は、フォトレタッチ (写真加工) のために開発されたソフトである。この授業は、Adobe Photoshopの基本的な操作方法について演習を通じて学ぶ。			
授業の目標			
①キャンバスサイズと解像度の関係について理解することができるようにする。 ②レベル補正とトーンカーブの機能を使いこなすことができるようにする。 ③選択ツールの機能を使いこなすことができるようにする。 ④マスクの機能を使いこなすことができるようにする。 ⑤レイヤーの機能を使いこなすことができるようにする。			
授業の方法			
①週2回受講する科目である。 ②新しい章の前にその章でのねらいや注意点を説明する。その後、自学形式で演習をすすめる。 ③教科書の進捗チェック用紙を渡すので、保存ファイル名を確認する。なお、提出期限までに「SkyDrive」を利用し、教科書の演習ファイルを提出する。 ④発表会にて自分の作品を紹介し、テーマとの整合性を説明する。			
学習の成果 (学習成果)			
授業の目標に掲げたPhotoshopの機能 (レベル補正、トーンカーブ、選択ツール、マスク、レイヤー) を用いて、写真を補正・修復・合成することができる。			
授業のスケジュールと内容			
第1回目	ガイダンス (学習成果、成績評価) Photoshop入門		
第2回目	教科書の演習① (月曜日: Photoshopの基本的な操作を覚えよう) (火曜日: 写真をきれいに補正しよう) 教科書の「明るさ・コントラスト」、「自動補正」は演習の対象外とする		
第3回目	教科書の演習② (月曜日: Photoshopの基本的な操作を覚えよう) (火曜日: 写真をきれいに補正しよう)		
第4回目	教科書の演習③ (水曜日: 画像加工の基本操作を覚えよう) (木曜日: レイヤーを使って複数の画像を合成しよう)		
第5回目	教科書の演習④ (水曜日: 画像加工の基本操作を覚えよう) (木曜日: レイヤーを使って複数の画像を合成しよう)		
第6回目	教科書の演習⑤ (水曜日: 画像加工の基本操作を覚えよう) (木曜日: レイヤーを使って複数の画像を合成しよう)		

第7回目	教科書の演習⑥ (水曜日: 画像加工の基本操作を覚えよう) (木曜日: レイヤーを使って複数の画像を合成しよう)		
第8回目	教科書の演習⑦ (水曜日: 画像加工の基本操作を覚えよう) (木曜日: レイヤーを使って複数の画像を合成しよう) 次の授業の前日までに、これまでの教科書の演習を全て終了しSkyDriveにファイルを保存する		
第9回目	教科書の演習⑧ (金曜日: 画像のペイントと画像の修復について学習しよう) (土曜日: 文字や図形を使いこなそう) 演習の進捗状況を確認する		
第10回目	教科書の演習⑨ (金曜日: 画像のペイントと画像の修復について学習しよう) (土曜日: 文字や図形を使いこなそう)		
第11回目	教科書の演習⑩ (金曜日: 画像のペイントと画像の修復について学習しよう) (土曜日: 文字や図形を使いこなそう)		
第12回目	教科書の演習⑪ (金曜日: 画像のペイントと画像の修復について学習しよう) (土曜日: 文字や図形を使いこなそう) 次の授業の前日までに、これまでの教科書の演習を全て終了しSkyDriveにファイルを保存する		
第13回目	一眼レフカメラの使い方 屋外で撮影する時の注意事項 演習の進捗状況を確認する		
第14回目	撮影した写真に関して教員とディスカッションをした後、他の受講生の前で作品を発表する (事前に撮影テーマを与えるので、テーマに沿った作品に仕上げる)		
第15回目	授業で学習した内容の復習		
成績評価の方法と基準			
	評価の領域	割合	評価の基準
授業参加態度			
レポート	60%		教科書の各曜日の演習 (6つ) はそれぞれ10%の配分となる。演習と課題で満点となる条件は「ファイル名が指定された通りで教科書で指示された機能を十分に活用し期間内に提出する」である。
調査報告書			
小テスト			
試験			
発表内容 (態度含む)	40%		満点となる条件は「発表者はテーマと作品の関係をわかりやすく説明することができ、且つ誰もが聞き取れるように大きな声で生き生きとした調子で話している」である。
その他			
教科書と参考図書			
プリントを配布する			
履修上の留意点・ルール			
操作方法がわからないときは、原則として教員へ質問するが、隣の友達に質問をしてもよい。ただし、私語は慎むこと。			